

授業づくりの過程を共有 「授業づくりネット」の活用の流れ

校内の教員が、生徒理解を深めたり、特別支援学級の授業づくりに触れたりすることができた



特別支援学級の授業づくりから得た手がかりを通常の学級にも生かし、「共に学ぶ」視点に立った授業づくりが校内に広がった



自らの指導内容や指導方法を工夫する機会になった



授業づくりを「見える化」し、共有することで、校内の教員の気付きや指導の工夫が促された





授業づくりネット


情報共有ノート（更新日： 月 日）

個別の指導計画より関連する目標	
教科等のねらい、想定される場面	
教科学習の目標	特別支援学級の学習でしていること、引き出したい力

授業者の気付き

ドキュメンテーション  

記録による気付き

コメント 

「授業づくりネット」の活用を通して、構想から実践、省察の過程を校内で共有します。
「授業づくりネット」の活用の流れを御紹介します。





授業づくりの過程を共有 「授業づくりネット」の活用の流れ①

授業者

授業づくりネット 情報共有ノート (更新日: 月 日)

個別の指導計画より関連する目標	個別の指導計画より関連する目標
教科等のねらい、想定される場面	教科等のねらい、想定される場面
教科学習の目標 または 共同学習の目標	授業を通して引き出したい力

授業者の気付き

ドキュメンテーション   ← 授業者の気付きを記入


生徒の姿

授業の
構想

実践の
様子

省察の
整理

記録による気付き

コメント  ← ドキュメンテーションを見た教員が気付きを記入

指導の専門性を
生かした気付き

「これはどういうことだろう？」
記録から生まれた問い

記録を見た感想

特別支援学級での
教科学習



交流学級での
共同学習



教科学習または共同学習
の目標を設定

活用例は5ページにあります



ドキュメンテーションに
気付きを記録



授業者は、個別の指導計画や教科等のねらい、想定される場面を基に、教科学習または共同学習の目標を設定し、授業の中で「引き出したい力」を明記します。さらに、「生徒の姿」「授業の構想」「実践の様子」「省察の整理」を、写真等を用いた※「ドキュメンテーション」の手法で記録します。

※保育記録の手法である「保育ドキュメンテーション」を参考にした、写真等を用いた記録のこと。





授業づくりの過程を共有 「授業づくりネット」の活用の流れ②

校内の教員

授業づくりネット 情報共有ノート (更新日: 月 日)


個別の指導計画より関連する目標	個別の指導計画より関連する目標
教科等のねらい、想定される場面	教科等のねらい、想定される場面
教科学習の目標 または 共同学習の目標	授業を通して引き出したい力

授業者の気付き

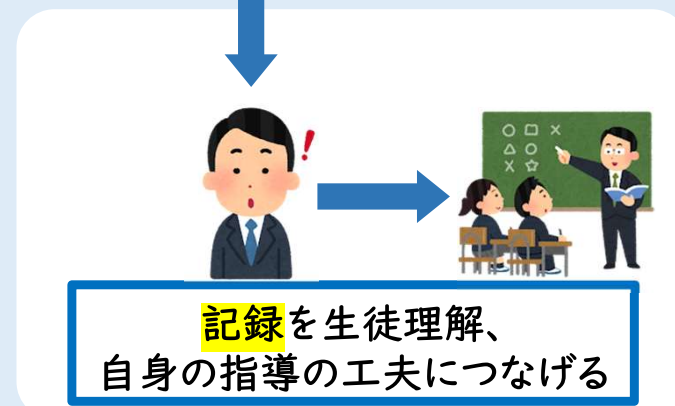
ドキュメンテーション   ← 授業者の気付きを記入

生徒の姿	授業の 構想	実践の 様子	省察の 整理
------	-----------	-----------	-----------

記録による気付き

コメント  ← ドキュメンテーションを見た教員が気付きを記入

指導の専門性を 生かした気付き	「これはどういうことだろう？」 記録から生まれた問い	記録を見た感想
--------------------	-------------------------------	---------



「ドキュメンテーション」等の記録は、閲覧した校内の教員にとって効果的な情報となるようにします。これらの記録を生徒理解や自身の指導の工夫にも生かしていくことで、教員間の協働による授業改善を促します。



授業づくりの過程を共有 「授業づくりネット」の活用の流れ③

授業づくりネット 情報共有ノート (更新日: 月 日)

個別の指導計画より関連する目標	個別の指導計画より関連する目標
教科等のねらい、想定される場面	教科等のねらい、想定される場面
教科学習の目標 または 共同学習の目標	授業を通して引き出したい力

授業者の気付き

ドキュメンテーション ← 授業者の気付きを記入

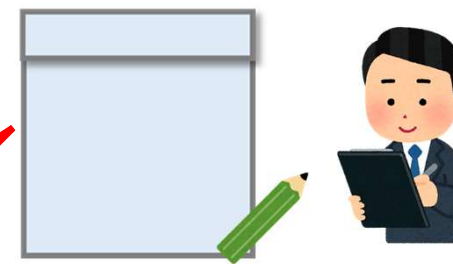
生徒の姿 授業の構想 実践の様子 省察の整理

記録による気付き

コメント ← ドキュメンテーションを見た教員が気付きを記入

指導の専門性を生かした気付き 「これはどういうことだろう？」
記録から生まれた問い 記録を見た感想

校内の教員



記録見て気付きをコメントする

授業者



コメントを次の授業構想につなげる

記録された内容を基に、校内の教員は、指導の専門性を生かした気付き、記録から生まれた問い、感想などを「コメント」に追記します。授業者と校内の教員がそれぞれの気付きを重ねることで、授業者はコメントの中で得た気付きを次の授業構想につなげます。



「授業づくりネット」の活用例



〈生活単元学習〉
合唱コンクール振り返り発表会

授業づくりネット

情報共有ノート（●月●日）

個別の指導計画より
関連する目標

・自分の取組や頑張りを認め、「できた」という経験を自信として感じられるようにする

教科等のねらい、
想定される場面

合唱コンクールの振り返りを通して、自分の思いや考えを言葉で表現し、相手に伝えることができる
→自分の思いや考えを言語化し、それを話したり書いたりして表現することに、苦手さや負担を感じる

教科学習の目標

特別支援学級の学習でしていること、引き出したい力

- ・合唱コンクールの振り返りを通して、自分の思いや考えを言葉で相手に伝える力
- ・スライドを用いて自分の考えを整理し、落ち着いて発表する力
- ・段階的な練習を通して、「できた」という経験を自信にし次の学習や活動に向かう力



活用例の一部
を紹介します！

授業者の気付き

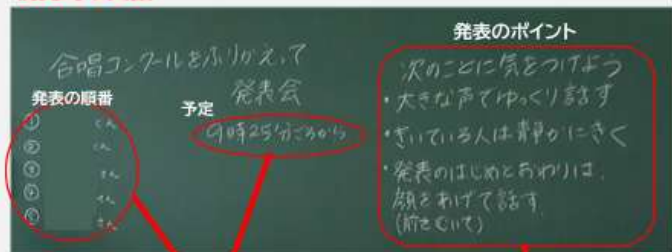
ドキュメンテーション



合唱コンクールを振り返って
(発表会本番)

いよいよ本番を迎えました。授業の始めに本時の流れを口頭で伝えるとともに、発表順や時間を黒板に書いて視覚的に示し、生徒が見通しをもって活動できるようにしました。前時のリハーサルで明らかになった声量や目線などの課題を踏まえ、発表のポイントを再提示して、よりよい発表を意識させました。授業前半では、スライドや原稿を個別に見直したあと、本番を想定した通し練習を行いました。朝から緊張していた生徒も多かったため、練習の合間に積極的に声をかけ、会話を通して少しでもリラックスして臨めるよう雰囲気づくりに努めました。

視覚的な支援



見通し

ポイントを絞って簡潔に

個に応じた指導(●さんの場合)

指導者を呼ぶ時は、不安や困っている可能性があるため、丁寧に話を聞き、一緒に解決していく

※写真を挿入



「横にいて〜」

「大丈夫だよ。近くにいるよ」



「いつも通りでいい？」

「いつも通りでいいよ ●さんのペースで」



「私の合唱コンクール…」

緊張を受け止め、安心して活動に向かえる働きかけ ⇒ 「やってみよう」に！

記録による気付き

コメント